

YA!ヤングアダルト新聞

2017.7 第31号 鎌ヶ谷市立図書館 (047)443-4946

みんなからのこの本オススメ!

お便りや質問、たくさんありがとう!
「YAポスト」に入っていたみんなからの『この本オススメ!』を紹介するわよ!

『8分音符のプレリュード』

松本 祐子/作

この本は、秋山果南という女の子が主人公で、その目線から見た、主人公を取り巻く学校生活のお話です。主人公はクラスの中の優等生なのですが、ある日学校に転校生が来ることになり、それをきっかけに主人公の生活が変わっていきます。主人公は一体どうなってしまうのでしょうか。

(ペンネーム ルナさん)

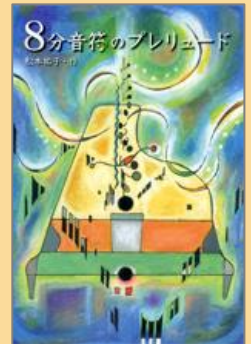


『青空のかけら』
S.E. デュラント/作
杉田 七重/訳
鈴木出版

舞台は今から30年前のイギリス。児童養護施設「スキリー・ハウス」で暮らす身寄りのない姉弟ミラとザックの身に起こった話です。ミラとザックの心からの願いは、「家族」がでること。でも、なかなか引き取り手がみつからないのです。2人一緒に引き取ってくれる人なんていないのかもしれない。夏とところがそんなある日、夏

の休暇を2人一緒にホームステイさせてくれるという人が現われました。2人の人生が少しずつ動きはじめます。暗い雲に覆われた灰色の空であっても一心に見続けていたら、きっと青い小さなかけらが見えるはず! 希望を持ち続けることの大切さが伝わってきます。

スタッフの おすすめ



『8分音符のプレリュード』
松本 祐子/作
小峰書店

『涙のタトゥー』

ギャレット フレイマン
ウェア/作

この本の主人公ソフィアは、弟の死や両親の離婚などをきっかけに自分の固い殻に閉じこもってしまいます。そんな時「涙のタトゥー」をした男の子と出会います。そして少しずつ少しずつソフィアが変わっていくのが見所です。ぜひ皆さんもソフィアの成長を見てみてください。

(ペンネーム 湯浅美咲さん)



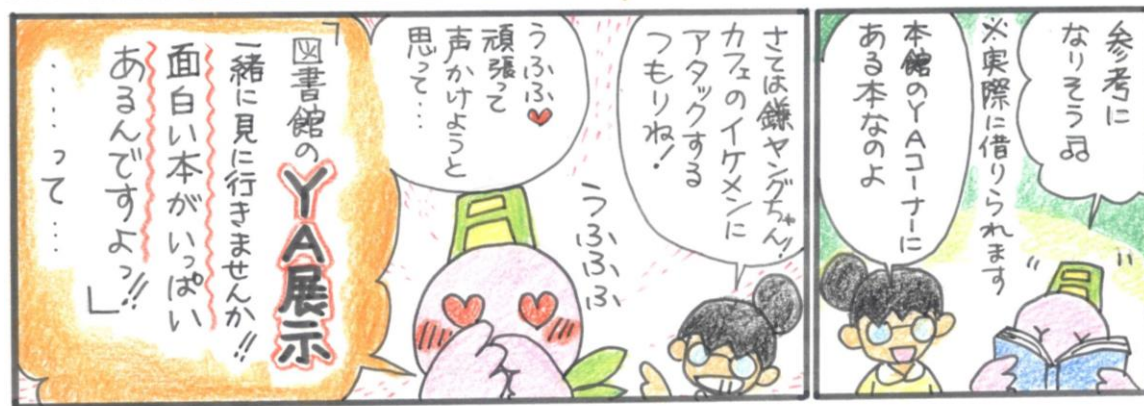
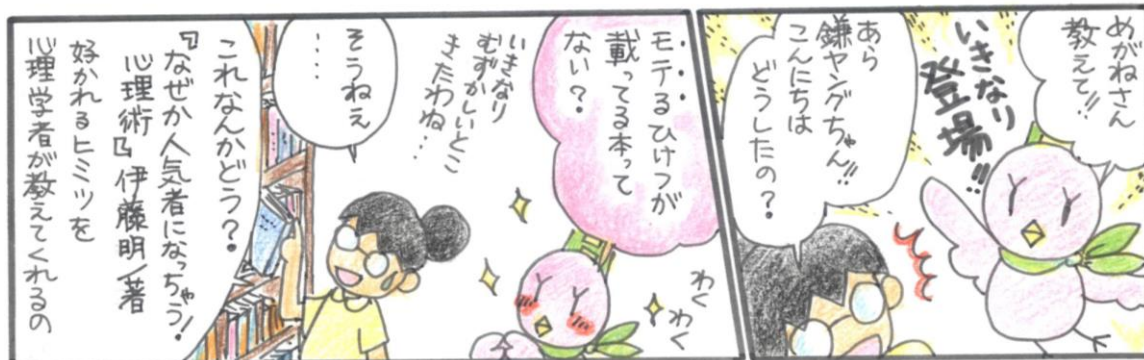
『涙のタトゥー』
ギャレット フレイマン=ウェア/作
ないとう ふみこ/訳
ポプラ社

みなさんは「宗教」と聞くとどんなイメージを持ちますか? ニュースでは連日イスラム教徒によるテロが報道されますし、過去には日本でもカルト教団による事件がありました。そのため日本では宗教に「危ない」「怖い」といったネガティブなイメージを持つ人が多いように思います。ですが自分は宗教を信じていない、必要ないという人でもお正月には初詣に行く、お盆になればお墓詣りへ行くという人はたくさんいるのではないのでしょうか。もっと細かく言えば、ご飯の前に「いただきます」と手を合わせることも、物を粗末にすると罰が当たるような気がするの、宗教的と言えませんか? 普段何気なく行っていることが実は宗教に由来するものだったとする



『宗教ってなんだろう?』
島蘭 進/著
平凡社

と、宗教なんて必要ないとは言えないかもしれませんね。この本では、「なぜ宗教は存在するのか」と「なぜ人は宗教とともに生きてきたのか」という問いを投げかけています。無宗教だと思っていたけど、実は目に見えない何かを信じる気持ちがあるのかも? と不思議に思ったらぜひこの本を読んでみてください。宗教に不信感を持っている人にこそおすすめしたい本です。



お知らせ

6月29日(土) ~7月27日(木)
「みんなが選んだ YA オススメの本」展示
本館1階カウンター横、
絵画前にて展示

今までのみんなからの投稿や、YAブログ、YA新聞などで紹介された本をまとめて展示します。いつもは分館で所蔵している本も展示します! 普段なら本館で出会えない本に出会えるチャンス! この機会にぜひご覧ください!

新刊図書案内 4月~6月

- ★『高校受験で成功する! 中学生の「合格ノート」教科別必勝ポイント55』
 - ★『働くってどんなこと?ひとはなぜ仕事をするの?』 ギョール・ル・ブラン
 - ★『101人が選ぶ「とっておきの言葉」』 河出書房新社/編
 - ★『強くなりたいきみへ!』 エディー・ジョーンズ
 - ★『アラスカを追いかけて』 ジョン・グリーン
 - ★『ウィル・グレイソン、ウィル・グレイソン』 ジョン・グリーン
 - ★『栗山魂』 栗山 英樹
 - ★『宗教ってなんだろう?』 島蘭 進
 - ★『十一月のマープル』 戸森 しるこ
 - ★『13歳からの夏目漱石』 小森 陽一
 - ★『13歳からのマナーのきほん50』 アントラム栢木利美
 - ★『時間ってなに?流れるのは時?それともわたしたち?』 クリストフ・ブトン
 - ★『超巨大ブラックホールに迫る』 平林 久
 - ★『ぼくのとなりにきみ』 小嶋 陽太郎
 - ★『未来への扉』 小林 深雪
 - ★『カブキブ! 6』 榎田 コウリ
 - ★『明日のひこうき雲』 八束 澄子
 - ★『100時間の夜』 アンナ・ウォルツ
 - ★『宇治の結び 上・下』 紫式部/著 荻原 規子/訳
 - ★『きみのためにはだれも泣かない』 梨屋 アリエ
- 詳しくはホームページのYAコーナーで!



鎌ヤングちゃんからひとこと!

図書館への質問、お勧めの本など、本館2階のYAポストに入れてね! YA新聞に採用させてもらうかも! 名前はペンネームでもOKよ! よろしくね!